

協議会 だより

Vol.22
2019.06.11



フルル

みなさんこんにちは！

いよいよ令和元年度がスタートしました。今年度は、福岡県においても県内の約7割の組織さんが、昨年度末に事業期間の終了を迎え、再認定となっています。

また、昨年度より作業中の事故が大変多くなっていますので、より一層の注意喚起をして頂きますようお願いいたします。

スイト



※安全のしおりの改訂版が、できましたので、活動組織への注意・喚起に活用してください。また、資料は、トップページの各種ダウンロードからご覧下さい。

万全の準備
で!!

高めよう 地域協会の力!
**多面的機能支払交付金
共同活動の安全のしおり**

共同活動前に安全確認を行い、
事故の発生を防止しましょう

安全確認チェックリスト

事前チェック	<input type="checkbox"/> 活動場所の下見をして、作業環境を確認しましたか。	<input type="checkbox"/> 危険な箇所については、テープ等で目印を付けたり、作業の广にコーキングしましたか。	<input type="checkbox"/> 参加者の年齢、作業の危険程度等を考慮して作業計画(分組、配属等)を立てましたか。
	<input type="checkbox"/> 作業中は雑草等の安全な作業方法を意識しましたか。	<input type="checkbox"/> 参加者は全員保険に入りましたか。	<input type="checkbox"/> 緊急連絡先が作成されましたか。
当日チェック	<input type="checkbox"/> 参加者に危険な箇所の説明をしましたか。	<input type="checkbox"/> 機関車を用いる場合、点検は済ませましたか。	<input type="checkbox"/> 緊急連絡先と関係の携帯は持参しましたか。

第1に、防護の徹底

- ・草刈機を使用する際は、ヘルメットや防護メガネ、手袋などを着用しましょう。



- ◎ヘルメット、防護メガネ、手袋は、交付金で購入可能になりました。
(但し、構成員全員に配布は不可)

第2に、事前確認

- ・作業場所の事前の確認を行きましょう。



- ◎前日までに、現地の下見、打ち合わせ、緊急連絡先の確認を必ず行いましょう。

★事故の例

注意・喚起!!

■ 事故の例



(法面の草刈り)

- ・活動項目：水路の草刈り
- ・作業内容：水路法面の草刈り作業
- ・事故概要：水路法面を上側から下側方向へ向かって草刈り作業中、土砂足じりの地面に足を滑らせ、草刈機の刃が自らの足へ接触。
- ・被災状況：足の裂傷(全治3週間)
- ・発生原因：安全な作業方法の周知不足(作業環境の不備)。



(雑木の伐採)

- ・活動項目：水路の草刈り
- ・作業内容：雑木の伐採・除去作業
- ・事故概要：単独で水路横の直径約30cmの雑木をチェーンソーで伐採中、作業面反対側への切り込みを行わなかったために雑木が地上2m付近で破断し、頭部を直撃したものと推定。
- ・被災状況：頭部の後、死亡
- ・発生原因：ヘルメットの非着用、安全な作業方法(作業面反対側への切り込み)の周知不足。